

JAMSTEC Library Communication

No. 86

9月の公開セミナーでは、史上初の海洋観測開発レースに参加し、見事3位を獲得したHpHS開発チームの挑戦の記録をお届けします。このHpHSは海水中の酸性度を測定するために開発された装置です。「どうして海の酸性度を測る必要があるの?」という方は図書館へどうぞ。海や地球の環境について考える図書を幅広くご紹介します。

★緊急告知★

HpHS実機を
9/19~図書館に
展示します!!

★
初級



『ぼくたち・わたしたちの地球温暖化問題』

今日からはじめる地球の守りかた』

ローリー・デイヴィッド・カンブリア・ゴードン著 朝倉和子訳
西岡秀三日本語版監修 / 小学館刊

大気中に排出された二酸化炭素、海がその一部を吸収しているって知っていますか?でも、海に二酸化炭素が増えるとどうなるの・・・?

日本では2007年に公開されて話題を呼んだ「不都合な真実」映画版の制作プロデューサーが、子どもたちに贈る1冊です。カラー写真やイラストを数多く用い、地球温暖化問題についてわかりやすく解説されており、温暖化を食い止めるためにわたしたちが取ることのできる行動についても書かれています。(I)

中級



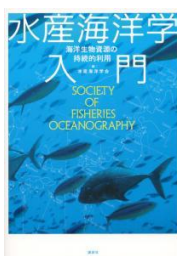
『海の世界 100 の危機』

東京大学海洋研究所 DOBIS 編集委員会編 / 東京書籍刊

地球最大の生命圏、海洋。しかしながら、温暖化、海洋汚染、資源枯渇などの海に関する諸問題は、多様で時間的な広がりを持つため、「複雑すぎてわからない」という気持ちになりませんか?

東京大学海洋研究所(現大気海洋研究所)を中心とする研究プログラム「海洋生命系のダイナミクス(DOBIS)」が、その研究成果を一般向けに紹介した本書。100のトピックスを2ページずつの見開きで紹介し、平易な文章がとても読みやすい、オススメの1冊です。(N)

上級



『水産海洋学入門 海洋生物資源の持続的利用』

水産海洋学会編 / 講談社刊

水産海洋学会各分野の研究者、技術者が共同で執筆。全体を大きく「基本的課題」「今日的課題」「将来的課題」の章に分け、グラフや写真を多用し、基礎的な内容から今後の展望までをわかりやすく解説しています。

東日本大震災が海洋生態系や水産生物に及ぼした影響や復旧状況についても述べています。(O)



第193回地球情報館公開セミナー 参考文献一覧

開催日時:平成27年9月19日 13:30~15:00

「史上初の海洋観測開発レース『Wendy Schmidt Ocean Health XPRIZE』への挑戦」

講師: 中野 善之 (海洋工学センター 海洋技術開発部 先進計測技術グループ)



講師推薦の参考文献

<専門書・専門雑誌>

書名/論題	著者名	出版社名/掲載雑誌名・巻号	備考
1 Abundance : the future is better than you think	Peter H. Diamandis and Steven Kotler	Free Press	★展示用に講師から借出した図書の為、貸出対象外です。
2 pHを測る	佐藤弦, 本橋亮一	丸善	★展示用に講師から借出した図書の為、貸出対象外です。
3 Simultaneous measurements of in situ pH and CO2 in the sea using spectrophotometric profilers.	Yoshiyuki Nakano, Hideshi Kimoto, Shuichi Watanabe, Koh Harada and Yutaka W. Watanabe	Journal of Oceanography, 62(1), 71-81. (2006)	
4 Purification and characterization of meta-cresol purple for spectrophotometric seawater pH measurements.	Xuewu Liu, Mark C. Patsavas, and Robert H. Byrne	Environmental Science & Technology, 45(11), 4862-4868. (2011)	所蔵なし(ご利用希望の際はカウンターにお問い合わせください)
5 A sensor for in situ indicator-based measurements of seawater pH.	Matthew P. Seidel, Michael D. DeGrandpre and Andrew G. Dickson	Marine Chemistry, 109(1-2), 18-28. (2008)	所蔵なし(ご利用希望の際はカウンターにお問い合わせください)

<一般雑誌>

論題等	著者名	掲載雑誌名・巻号	備考
1 特集 海洋酸性化	-	海洋と生物, 35(4), 315-371. (2013)	★海洋酸性化をテーマにした特集号です。
2 海洋酸性化の脅威	S.C. ドニー	日経サイエンス : Scientific American 日本版, 36(6), 50-59. (2006)	
3 温暖化に直面する北極域生態系の急変	原田尚美, 木元克典, 西野茂人, 渡邊英嗣, 照井健志	Blue earth : 海と地球の情報誌 24(4), 1-13. (2012)	
4 酸性化する海 : そのとき、生き物はー	エリザベス・コルバート	National geographic = ナショナルジオグラフィック日本語版 17(4), 66-87. (2011)	

<児童書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 CO2のりものずかん	三浦太郎	ほるぷ出版	★新着図書
2 サンゴの海	長島敏春	偕成社	

テーマ関連参考資料リスト : 今回は海洋環境に関する資料を集めました。このほかにも図書館2Fに多数展示しています。どうぞ来館ください!

<専門書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 水しらべの基礎知識 : 環境学習から浄化の実践まで	山田一裕	オーム社	★新着図書
2 水産海洋学入門 : 海洋生物資源の持続的利用	水産海洋学会編	講談社	(裏面)Library Communication No.86で紹介しています

<一般書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 CO2のQ&A50 : グラフと図表でわかる環境問題	笠原三紀夫、東野達、酒井広平編著	丸善出版	★新着図書
2 大気の進化46億年O2とCO2 : 酸素と二酸化炭素の不思議な関係	田近英一	技術評論社	★新着図書
3 ホントにすごい! 日本の科学技術図鑑	川口友万監修	双葉社	★新着図書
4 我らクレイジー★エンジニア主義	リクナビNEXT Tech総研	中経出版	★新着図書
5 海の環境100の危機	東京大学海洋研究所DOBIS編集委員会編	東京書籍	(裏面)Library Communication No.86で紹介しています

<児童書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 ずかんプランクトン : 見ながら学習調べてなっとく	日本プランクトン学会監修	技術評論社	★新着図書
2 ぼくたち・わたしたちの地球温暖化問題 : 今日からはじめる地球の守りかた	ローリー・デイヴィッド、カンブリア・ゴードン著 ; 朝倉和子訳 ; 西岡秀三日本語監修	小学館	(裏面)Library Communication No.86で紹介しています

上記の資料は2015年10月第3土曜日の前日まで横浜研究所地球情報館2F図書館にて展示しております

(図書館の開館時間 平日・公開セミナー開催の第3土曜日 10:00~16:00)

お問い合わせ : 海洋研究開発機構 研究推進部 研究推進第2課 横浜図書館 045-778-5476 library@jamstec.go.jp